

A photograph of the Texas Instruments building at sunset. The building is a modern structure with a large glass facade that reflects the colorful sky and the surrounding city skyline. The Texas Instruments logo, featuring a red stylized 'T' and the company name in white, is prominently displayed on the upper part of the building. In the foreground, there is a multi-level highway interchange with several cars visible. The sky is a mix of orange, yellow, and blue, indicating the time is either sunrise or sunset. The overall scene is a blend of urban architecture and natural beauty.

TEXAS INSTRUMENTS

# 2024 年コーポレート シティズンシップ レポート エグゼクティブ サマリー

# 2024 年のハイライト



## TI での仕事

世界各地にいる 34,000 人の優秀な TI 従業員は互いに協力し、半導体を通じてエレクトロニクスをより手頃な価格で提供することで、より良い世界を作り上げようとしています。

**30+** 人材育成と労働力に関するプログラムに費やした時間

**43+** TI 従業員あたりの平均学習時間

**13個** 従業員リソース グループ



## 持続可能な未来を作り上げる

TI はエネルギー、原材料消費量、水使用量、さらに、GHG (温室効果ガス) の排出量を減らすために、製造事業への投資を継続してきました。

**29%** スコープ 1 とスコープ 2 の GHG 排出量の削減 (2015 年との比較)

**25%** 購入した再生可能電力の割合

**88%** 埋め立て処分する代わりに転用した廃棄物の割合

**31%** 再生水利用の割合

**SBTi** (Science Based Targets initiative / 科学的根拠に基づく目標イニシアティブ)  
気候科学と整合した短期的な GHG 削減目標の設定に対する TI の取り組み



## より強力なコミュニティの構築

社員であることを個人的に誇れる会社、および地域の隣人として望ましい会社である、という TI の目標は、より強力なコミュニティを築き上げようとする TI の業務の指針になります。

**5,700万米ドル** TI、TI Foundation (TI 財団)、従業員、退職者から寄せられた寄付額

**305,000 時間** 他者の支援を目的として、従業員と退職者がボランティア活動に費やした時間

# コーポレート シティズンシップへの取り組み



TI (テキサス・インスツルメンツ) は数十年にわたり、半導体によってエレクトロニクスをだれもが手に届く手ごろなものにし、より良い世界を作り上げる、という熱意をもって事業を運営してきました。半導体技術は、世代を重ねるごとに信頼性が高まり、コストと消費電力は低減されています。今や半導体はあらゆる電子機器に搭載されるようになりました。私たちの情熱は今日も脈々と受け継がれ、より持続可能な未来を実現する新しいアプリケーションや電子機器の開発に活かされています。

しかし情熱だけでは十分ではありません。TI の創設者たちには、優れた企業を築き上げるには、長期的な成長に貢献する特別な文化が必要であるという知識や先見性がありました。長年にわたって、TI は 3 つの重要な目標を念頭に置いて事業を運営してきました。

- 私たちは、この会社の将来を担う責任ある当事者として、長期的な視点で行動します。
- 私たちは、絶えず変化を続ける世界に適応し、成功を収めます。
- 私たちは、社員であることを誇りに思える会社、地域の隣人として望ましい会社であることを目指します。

これらの目標は、TI の長期的な意思決定の指針となり、私たちの製品がより良い世界の創造に貢献することで、私たちの努力の結集はインパクトある長期的なものになると確信しています。

私たちは良き企業市民であることに誇りをもち、私たちを取り巻くコミュニティや世界全体に以下の 2 つの形で影響を及ぼしています。

第一に、私たちの目標は TI が企業経営の指針を示すと同時に、持続可能性に優れ、社会的に配慮があり、環境に対して責任ある方法で事業を確実に進めるための土台になります。これらの目標の中心にあるのは、すべてのステークホルダーに有益な結果をもたらすために、会社は長期間にわたってより強力になるように成長を続ける必要がある、という信念です。

第二に、より良い世界を築き上げ、環境に及ぼす影響を低減するのに役立つ手段として、半導体は重要な役割を継続的に果たします。

エンジニアとして、私たちは幸運にも、お客様がより良い世界を創造するためのイノベーションを支援するエキサイティングな技術に携わることができます。技術は当社の基盤であり、当社の半導体製品は電気自動車やエネルギー貯蔵システム、再生可能エネルギーの応用など、多くのサステナブルテクノロジーの開発の核となっています。

私たちは、責任を持って持続可能な手段で製品を製造する方法を継続的に改善しています。2024 年には、製造能力を拡大しながら、環境への影響をさらに削減することができました。また、2030 年までに世界各地の事業所を 100% 再生可能電力で運営するという目標を提示するとともに、GHG 排出量の削減に向けて、気候科学と整合した短期的な全社的目標を設定することを表明しました。

2024 年に TI 従業員が達成したことを私は誇りに思います。私たちは、従業員の安全な職場環境を確保し、革新的な技術とアプリケーションを提供しています。また、顧客の需要に応えるために製造能力を拡大するとともに、地域社会にも貢献してきました。

TI の志は今後も変わることはありません。会社の未来を自分ごとのように見据え、変化する社会の中で柔軟に適応し成功を目指すとともに、すべてのステークホルダーに誇りを持っていただけるような企業であり続けます。私たちが成功すれば、従業員をはじめ、お客様、コミュニティ、ステークホルダーを含むすべての関係者がその恩恵を受けることができます。

**Haviv Ilan (ハビブ イラン)**  
社長 兼 最高経営責任者 (CEO)

## コーポレート シティズンシップに対する TI のコミットメント

TI は良き企業市民であることに大きな誇りを抱いています。これまでと同様、TI のコーポレート シティズンシップ レポートは、TI の事業に関連する ESG のさまざまな分野で TI がどのように考え、どのように行動しているか、を明らかにしています。

2006 年以来、年次コーポレート シティズンシップ レポートとして、TI はプログラムに関する情報、複数の目標、各目標の進捗状況、関連データを公開してきました。その中で、良き企業市民の立場を維持するためのコミットメントの一環として、職場環境への取り組み、自然環境の維持、ビジネス慣行、コミュニティに及ぼす影響を重視してきました。

TI の 2024 年コーポレート シティズンシップ レポートは、TI の事業に関連するさまざまな分野で TI がどのように考え、どのように行動しているか、という洞察を明らかにしています。こうしたレポートは、GRI (グローバル・レポーティング・イニシアチブ)、SASB (米国サステナビリティ会計基準審議会) の半導体基準、CDP など、世界的に認識されている報告基準やフレームワークに準拠して作成されています。

本年は、IFRS (国際財務報告基準) のサステナビリティ開示基準に従って情報とデータを報告しています。こうした基準には、TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) によって以前に開発された要件が組み込まれています。

TI は現在、世界各地で新たに制定される開示規制に準拠してレポートを作成する準備を確実に整えるための措置を講じています。当社の情報は、オンライン「[TI.com/citizenship](https://ti.com/citizenship)」で開示されています。

# 職場環境

TI には、34,000 人のワールド クラスの優れた社員がいます。これらの人々を英語では Tlers、つまり TI 従業員と呼んでいます。彼らは、熱心に課題に取り組み、エレクトロニクスの将来を描いています。

TI には、半導体を通じてエレクトロニクスをより低コストで入手できるようにして、より良い世界を築き上げるという熱意があります。

真空管からトランジスタへ、さらに IC (集積回路) へと世界が移り変わる際に、TI は先駆者として行動してきました。また、数十年にわたって IC のテクノロジーを進歩させ、信頼性の高い方法で IC を大量生産する能力を実証してきました。

各世代の革新は、それより前の世代を土台として、技術の小型化、効率と信頼性の向上、低コスト化に貢献しています。コネクテッドカーからインテリジェント ホーム、医療機器やスマートフォンに至るまで、身の回りの多様な製品の内部で、TI の革新は機能を果たしています。

## TI の価値基準

trustworthy (信頼される)、inclusive (受容的)、innovative (革新的)、competitive (競争力)、results-oriented (結果重視) という TI の価値基準は、**私たちが何者であるか**、そしてどのように行動するべきかを定義するものです。これらの原理原則によって、会社としてより強く成長することができます。

## TI での仕事

業界で最高クラス的能力と創意工夫、成功実現力のある人材を採用し、雇用を継続することが、TI の成長と発展を左右します。

従業員は、次のような理由で TI を選択しています。

- 入社したその日から能力を発揮できる刺激的でやりがいのある仕事。
- 問題解決に力を尽くして未来を形づくる人々と協力し合う機会。
- 考えやアイデアを自由に発言できる包摂的な文化。

## TI でのキャリア形成

TI は、社内の人材に投資しています。従業員それぞれのスキルと関心に合った柔軟なキャリアパスを用意することで、従業員のキャリアの長期的成功を支援します。

TI では、新入社員からベテラン社員まで、すべての TI 従業員が影響力を高め、常に向上心を持てるよう、体系的な学習と能力開発の機会を組織内のすべての階層で提供しています。従業員はいつでも、雇用とラーニングに関する社内のシステムにアクセスし、自身のキャリア探求やキャリア構築、または必須のトレーニングモジュールや他のラーニングモジュールを修了することができます。2024 年の TI 従業員の平均学習時間は 43 時間でした。

2024 年に、TI は世界各地で 30 以上の賞賛と評価を受けました。これは、職場文化やキャリア構築に注力する当社の努力が認められた証です。各受賞は、価値基準に基づく行動と、誇りを持てる会社になるための TI の取り組みを反映しています。

## 充実した福利厚生

TI は、最良の福利厚生、プログラム、サービスを TI 従業員やその家族に提供するよう努めています。

TI の福利厚生プログラムは、TI 従業員それぞれの固有のニーズを重視しながら、現地の法規制に遵守して構成されています。米国における TI の福利厚生について詳しくは、TI.com で最新の [Benefits and Insurance Guide \(福利厚生・保険ガイド\)](#) をご覧ください。



## 一丸となって未来を形成

サーモスタットや自動車から、スマートフォンや人工衛星やデータ センターに至るまで、日常的に使用している電子デバイスの大半には、互いに通信を行う能力があり、複数の半導体チップを土台にしています。これら不可欠なチップを製作するために、有能な人材がチームとして働き、テクノロジーの限界を押し上げています。

ところで、TI のようなグローバル半導体企業はどのような組織でしょうか？ TI で歩んできた道や会社への貢献に関するそれぞれの経験を盛り込んだ事例を 3 人の従業員がご紹介します。



# 環境への取り組み

TI は良き企業市民であることに大きな誇りを持ち、持続可能な製造と環境に対する責任に長年取り組んできました。

特に半導体の使用量が増大を続ける中、高まる需要に対応することを目的として、ほぼ 10 年にわたって環境持続可能性に関する戦略と長期的な生産能力に対する計画を整合させて運営に尽力してきました。

毎年数百億個のチップを製造する半導体メーカーとして、TI は製造プロセスの効率改善を最優先課題としています。TI はまた、複数年にわたる環境維持に関する目標を設定しています。これは、革新と環境管理のバランスを取ることを目指す取り組みの指針となるものです。

## 持続可能性に向けた TI の取り組み

TI は、技術と持続可能性が調和した未来の創造に取り組んでいます。毎年、環境への悪影響を軽減することを目的として、世界各地の製造拠点全体でさまざまなプロジェクトに投資しています。

米国では、複数の最先端 300mm ウェハ製造工場の建設が着々と進行しています。または、すでに増産に貢献しています。こうした最先端設備を備えることで、原材料、エネルギー、水を節約しながら、ウェハあたりのチップ生産量を増やすことができます。

2024 年、当社は 2030 年までに世界各地の事業所を **100% 再生可能電力** で運営することを誓約しています。また、原材料の抽出から製品の流通に至るまでの GHG 排出量を追跡するため、TI の半導体ポートフォリオ製品のカーボン フットプリント（二酸化炭素排出量）に関する評価を開始する措置を講じています。

こうした取り組みは、当社の事業、輸送、流通チャネル、そしてサプライチェーン全体における世界的なエネルギー消費と GHG 排出量のさらなる削減に向けた包括的な対策の一環です。

2024 年の主要プログラムのハイライト：

- 全社を上げて数百に及ぶ効率化プロジェクトを実施しました。蛍光灯をエネルギー効率の高い LED に交換するだけで、年間 6 万 6,000 メガワット時 (MWh) のエネルギーを節約し、530 万米ドルの光熱費を削減し、そして 2 万 7,000 トンの CO<sub>2</sub>e（二酸化炭素換算値）の排出を抑えることができるのです。エネルギー管理における TI のリーダーシップと革新性が米国エネルギー省に認められ、同省から名誉ある **Better Practice Award (ベター プラクティス賞)** を授与されました。
- 高度な技術と再利用インフラを導入したことで、水の 29% を回収して他の用途で再利用しました。また、2023 年の総水使用量の 3.5% に相当する 2 億 6,400 万ガロンの水を節約することができました。
- 総合的なリサイクルと再利用プログラムを通して、通常は埋立地に廃棄する材料の 88% を転用しました。
- 関連するスコープ 3 の GHG 排出量のベースライン インベントリを確立することを目的としてサードパーティの専門家を採用したことで、バリュー チェーンへの影響に対する理解を深め、課題により良く対処できるようになりました。
- 再生可能電力の開発事業者と長期契約を締結したことで、クリーン エネルギーへの安定したアクセスを確保し、再生可能電力の使用目標を推進できるようになりました。



こうしたプログラムを推進することで、TI は過去 5 年の間に、スコープ 1 とスコープ 2 の GHG 絶対排出量の 29% 削減<sup>1</sup>、約 10 億ガロンの水の節約、従来は埋立処理していた廃棄物の約 21 万トンの転用を実現しました。

こうした取り組みを通じて、TI は継続的に革新と投資に取り組み、より持続可能な未来への道を先導していく構えです。

## 100% 再生可能電力に向けた歩み

TI は 2024 年、100% 再生可能電力で運営することを目指す新たな環境の持続可能性目標を発表しました。同目標では、2025 年までに 300mm 製造拠点を、2030 年までに世界各地の拠点を 100% 再生可能電力で運営することを目指しています。

TI の ESH（環境、安全、健康）従業員が、持続可能な未来の実現に向け、再生可能電力の活用をどのように拡大しているかについて、その舞台裏をご紹介します。



<sup>1</sup> TI は 2020 年、2015 年を基準年として、スコープ 1 とスコープ 2 の GHG 絶対排出量（総量）を 25% 削減するという目標を設定しました。

# 責任ある事業慣行

TI の目標と価値基準は、会社をより強くするために不可欠であり、それらの原則を支持し、持続性と責任のある業務慣行を TI のサプライチェーン全体で推進するうえで、TI 従業員全員が重要な役割を担っています。

TI は、長期的な成功を達成するには優れたコーポレート ガバナンスが重要であると確信しています。1973 年以来、TI は文書化した **ガバナンス ガイドライン** を使用しており、会社と株主のニーズに合わせて長年にわたって改正を実施してきました。

TI の価値基準は、TI をより強力なものにするために不可欠であり、私たちは定められた原則を遵守することで、責任ある倫理的なビジネス慣行を体現します。TI では、これを TI の目標、価値基準、および行動規範を含めた **Living Our Values (TI の価値基準に基づく行動)** と呼んでおり、この基準に従って日々事業を進めています。

すべての TI 従業員はこれらの原則を支持する上で重要な役割を果たし、リーダーの関与や従業員の参加とトレーニングを通じて会社の強化を進めることができます。TI は、従業員 1 人 1 人が行動規範について理解することを期待しています。この行動規範を通じて、TI の目標や価値基準を日々の行動基準として実践すること、私たちが許容することのない言動を明確に提示することを求めています。



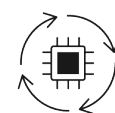
さらに、TI は事業全体と **グローバル サプライチェーン** 全体における責任ある倫理的慣行を推進するために投資しています。これには、ビジネス、労働、人権、環境リスクに対処するだけでなく、当社製品に使用される鉱物が倫理的に調達されたものであることを確認することが含まれます。

## 品質と信頼性

品質に関する TI の総合的なアプローチは、会社のサプライチェーンのあらゆる段階に浸透しており、プロセス技術や設計から、製造、パッケージング、試験、納入までを網羅しています。TI は、顧客のニーズに適した高品質で信頼性の高い半導体ソリューションを提供できるように、製品とプロセスのテクノロジーを継続的に向上させています。

このように品質基準を高く維持していることから、TI は ISO 9001、ISO 14001、ISO 45001、IATF 16949 (自動車品質管理の国際規格)、UL (米国保険業者安全試験所) 規格など、数多くの **ISO 認証および品質管理認証** を取得しています。

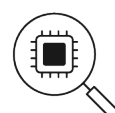
## サプライチェーンの責任



TI は、責任ある体制と公正な業務慣行がサプライチェーン全体に浸透するように、これらに関してサプライヤーが TI と同じ取り組みを行うことを要求します。TI の **サプライヤ行動規範** は、労働環境が安全であること、労働者が敬意と尊厳を持って扱われること、事業運営が環境に責任を持った倫理的な方法で遂行されることを確実にするための基準を確立しています。

TI は、自社、業界全体、自社のサプライチェーン全体で人権を尊重するために、ベスト プラクティスとプロセスを採用し、適用しています。TI は、グローバル サプライチェーンにおける企業の社会的責任に取り組む世界最大の業界団体である RBA (責任ある企業同盟) のメンバーです。TI は **RBA 行動規範** を採用し、それをサプライチェーン全体の取り組みとして捉えています。

## リスク管理



TI は事業の継続性、成長、収益性を確保するため、サイバー攻撃、自然災害、地政学的課題、サプライチェーンの混乱など、新たに発生し得るリスクを積極的に監視して、問題に対処するための準備態勢を備えています。この体系的なアプローチにより、複雑な状況に対応しながら、高い信頼性をもって顧客への供給を維持することができます。

TI のリスク管理プロセスは、ISO 認証、NIST (米国国立標準技術研究所)、CIS (インターネット セキュリティ センター) の統制などのベスト プラクティス管理手法やガバナンスの枠組みに基づいています。TI はこの取り組みを **TI 100** にも導入することで、さまざまな規制や基準に準拠した安全な最終製品を顧客が構築できるように支援しています。

## レポート作成



TI 従業員には、目標、価値基準、行動規範、方針のいずれかに相いれない行動を目撃した場合に、そのことを報告する責任があります。マネージャまたは人事担当者に話しか、TI エシックス部門に直接または匿名で連絡を取ることができます。

直接の連絡先：

- E メール [ethics@ti.com](mailto:ethics@ti.com)
- 私書箱宛の郵送 Box 830801, Richardson, TX 75083-0801

匿名ヘルプライン：

- オンライン アクセス先 [ti.com/tiethicshelpline](https://ti.com/tiethicshelpline)
- 米国内の無料通話：1-888-590-5465

# コミュニティに及ぼす影響

TI と TI Foundation は数十年にわたって、当社が事業を展開している世界各地のコミュニティをより発展させるために取り組んできました。

TI と TI Foundation<sup>2</sup> は、慎重に検討した適切な測定に基づいて投資を行い、寄付やボランティア プログラムへの TI 従業員の参加を促進することで、世界各地のコミュニティの生活の質を強化および向上させることに取り組んでいます。

## より強力なコミュニティの構築

TI の 3 つの目標のうちの 1 つは、社員であることを誇る会社、および地域の隣人として望ましい会社であることです。資金の投資と従業員の関与を組み合わせることで、その影響力を最大化できると TI は確信しています。

TI Foundation<sup>2</sup> の活動を通じて、主に TI 本社周辺において、公正なコミュニティを繁栄させる上で重要な分野の支援を目指しており、特に教育に主眼を置いています。私たちは、実績のあるプログラムを重視する一方で、大きな影響をもたらす可能性がある革新的なアイデアも検討の対象としています。成果を挙げるべくすべての投資を評価、測定し、私たちが資金を提供するプログラムの公平性と包摂性を徹底する措置を講じています。

2024 年、TI Foundation<sup>2</sup> は、さまざまな組織を対象に 3,250 万米ドルを超える助成金、マッチング ギフト、現物寄付を行いました。これには、数十年にわたってコミュニティの生活の質向上に注力してきた当社の努力が反映されています。

TI Foundation<sup>2</sup> は 1964 年の設立以来、教育を慈善事業の最優先事項に据えてきました。これには、STEM (科学・技術・工学・数学) 教育のニーズが大きいにもかかわらず、機会の少ないノース・テキサス学区を支援する助成金が含まれています。数学的問題や科学的問題を解決するための論理的思考には、STEM 分野の教育、学習、応用が必要ですが、この資金は、教師を訓練し、学生の能力を高めるうえで極めて重要な役割を果たしました。

昨年、TI Foundation<sup>2</sup> は、公平な学習機会を創出することを目指して、800 万米ドルの教育助成金を提供しました。これには、STEM 教育に重点を置いた公立女子中学校への助成金が含ま

れています。これにより、同校の学生は高校への進学準備を十分に整え、学業とリーダーシップ プログラムを通じて女子による逆境の克服をサポートする YWPN (Young Women's Preparatory Network) に参加することができました。

2024 年に提供した他の助成金の 1 つとして、ダラス郡南部公立学区の STEM プログラムへの継続的な支援が挙げられます。これには、ロボット工学を通じて Girl Scouts of Northeast Texas (北東テキサス・ガールスカウト) の STEM 教育への信頼性の向上を図るための投資、およびダラスの学校で STEM 教育を担当する教師人材の育成を目的とする資金提供などが含まれます。

## マッチング ギフト

TI は、世界各地における寄付やボランティア活動の機会を通じてコミュニティに関与することを奨励しています。米国では、TI Foundation<sup>2</sup> が従業員や退職者の寄付 (寄付金や時間) に対して同額の金額を上乗せして寄付するマッチング ギフトを行っています。適格な団体への寄付の場合は金額ベースで最大 3 万ドル、ボランティア活動の場合は費やした時間の価値として年間最大 1,000 ドルを上乗せして寄付しています。

## ボランティア活動

TI の従業員には、自らが活動するコミュニティに貢献し、生活の質を向上させるという熱意があります。TI には、従業員が主導するチームが世界中に 20 以上あり、従業員は各地域のニーズを解決するために働いています。

2024 年には、当社の従業員と退職者がボランティア活動に約 305,000 時間を費やしました。その価値は 1,020 万米ドルに達しています。<sup>3</sup>



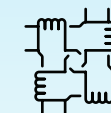
TI Foundation: より強固なコミュニティの構築を目指して 60 年

TI の創設者である Cecil Green、J. Erik Jonsson、Eugene McDermott、Pat Haggerty は、TI の本拠地であるダラスの生活の質向上を目指してきました。永続的な企業寄付を確実に実現し、世界的な「良き隣人」を目指すという当初からの会社の気風を確立する手段として、1964 年 12 月 2 日に TI Foundation が設立されました。

1964 年以来、総額 3 億 6,000 万米ドルを超える寄付を行ってきた TI Foundation は、今後も持続的に好影響を与えるという伝統を守り続けていきます。



1 億 3,000  
万米ドル教育の推進



8,100  
万米ドル  
United Way基金  
への寄付



1 億 300  
万米ドルマッチング  
ギフト

<sup>2</sup> TI Foundation は、TI の 501 (c) (3) 慈善団体です。寄付金は、米国内、主に TI 本社付近でのみ支給されます。

<sup>3</sup> 個別の活動分野におけるボランティア 1 時間分の最新の価値は 33.49 米ドルでした。

#### 将来見通しに関する記述の注意事項

この通知には、実行可能性の予測や環境維持に関する当社の目標が及ぼす影響に関する声明を含め、1995 年に成立した民事証券訴訟改革法により規定される法的責任からの免責条件を満たすことを意図した「将来見通しに関する記述」が含まれています。一般的に、これら将来見通しに関する記述は、TI とその経営陣による、「will」（見込み）、「believes」（確信する）、「expects」（期待する）、「anticipates」（予測する）、「foresees」（予見する）、「forecasts」（予期する）、「estimates」（推定する）、またはその類似語句から識別できます。同様に、TI の事業戦略、見通し、目的、計画、意図、目標に関する記述は、将来の見通しに関する記述です。将来の見通しに関する記述はいずれも特定のリスクや不確定要素を含む可能性があり、実際の結果が予測と大きくかけ離れる可能性があります。これらの要因に関する詳細な説明については、SEC が保管している 2025 年第 1 四半期の Form 10-Q に記載されている「risk factors」(リスク要因) の説明をご覧ください。この通知に含まれている「将来の見通しに関する記述」は、この通知を作成した時点で作成したものです。TI は、その後の出来事や状況を反映する目的で、「将来の見通しに関する記述」を更新する義務を負いません。